

「こだわり」 持ち続けて

「メディア、東アジアを
読み解こう」

学部、学科は今春新設さ

県立大学の 挑戦

「新任教員」紹介⑩

PR

れた。中国や韓国をはじめ
とした東アジア地域を重点
的に学び、メディア研究の

国際社会学部 国際社会学科



【プロフィール】

早稲田大法学部卒、放送大大学院修士課程修了。朝日新聞社で北京支局長、大阪経済部次長、広州支局長などを歴任。担当科目は「マスコミュニケーション論」。名古屋出身

あきひこ 鈴木 教授 (53)

一環として報道機関の役割と課題の理解も深める。

全国紙の記者で、主に経済畑を歩んだ。中国には2度駐在。政治経済分野での取材経験と現地の雰囲気を中心に、「表現の自由、報道の自由に対する考え方は国によって違う。国家による報道規制が世界各地にあることにも触れながら、メディアと東アジアについて考えていきたい」と語る。

授業では学生の「質問」を活発化させる工夫を凝らすほか、新聞記事を活用、

ネット情報への接し方も解説する。学生が社会情勢への認識を深め、国際感覚と意見を発信する力を身につけてもらうことが目標だ。

座右の銘は「木を見て森を見る」。物事は、個別の事象と全体の状況の両方を見る必要がある、と考える。「勉強も趣味も、進路も、これだけは譲りたくないという『こだわり』を持ち続けて欲しい」。高校生にもメールを送る。【随時掲載】

AO入試出願期間
9月8日(木)～16日(金)

0956
(47)
5856